

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

スイーツ等による「とみやシティブランド」の確立推進プロジェクト

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

富谷市

### 3 地域再生計画の区域

富谷市の全域

### 4 地域再生計画の目標

#### 4-1 地方創生の実現における構造的な課題

富谷市は、仙台市に隣接した良好な住環境を背景に人口は年々増加しているものの、一方で、平成27年国勢調査によれば昼夜間人口比率は、77.2%と県内で2番目に低く、ベッドタウンとしての傾向が顕著であることが懸念されている。また、平成28年市町村別農業産出額（推計）によれば、本市の農業産出額は、6億1千万円と県内で4番目に低く、今後、更なる減少が懸念されている。また、市内スイーツ店の協力のもとスイーツを切り口に、本市特産品のブルーベリーを材料としたオリジナルスイーツの開発・販売などに取り組んでいるが、原材料としての生産量が限られていること、また、スイーツの素材となる新たな特産品の開発を進めているが、一次産業の活性化を目指した取り組みまでにはつながっていない。

こうしたことから、本市の地方創生の実現においては、スイーツを切り口とした取り組みを発展させ、地域特産品を活用した新たな魅力の創造による交流人口の拡大（人を呼び込む施策の拡大）、農業振興施策の中でもスイーツを切り口とした振興策の継続と拡大により一次産業全体の活性化につなげることが課題であると分析する。

#### 4-2 地方創生として目指す将来像

富谷市は、仙台市に隣接する地位的な優位性や良好な住環境などを要因に人口が年々増加し、平成28年10月、単独で市制施行を行ったところである。その一方で、かつての基幹産業であった一次産業は年々衰退の一途をたどっていることから、従来の手法にとらわれない新たな取り組みによる一次産業の活性化がもたらされている。また、ベッドタウンからの脱却として、良好な住環境の提供にとど

まらない新たな魅力の創造が求められているところである。

このような状況を背景に、スイーツを切り口とし、従来からの特産品であるブルーベリーに加え、新たな特産品を開発し、また、それを活用した新たなスイーツとしての6次化の推進などに取り組み、「スイーツのまち・とみや」としてのあらたな付加価値を加えることにより一次産業の活性化につなげ、また、交流人口の拡大と地域としての稼ぐ力を向上させるまちを将来像とし、今後も持続可能な自立したまちを目指すものである。

### 【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H30 年度 増加分 1 年目	R1 年度 増加分 2 年目	R2 年度 増加分 3 年目	KPI 増加分 の累計
スイーツ博覧会による交流人口 年 10,000 人以上増加	0 人	5,000 人	5,000 人	0 人	10,000 人
新果樹等の新特産品の定着（生産拡大） 3 品以上	0 品	0 品	1 品	2 品	3 品
新規就農者、起業家（新規店舗・観光ビジネス） の育成 3 人以上	0 人	1 人	1 人	1 人	3 人
スイーツステーションを見据えた「とみや スイーツ」の開発 10 品以上	0 品	3 品	3 品	4 品	10 品

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

この取組は、富谷市地方創生総合戦略の基本目標2「スイーツ等によるとみやシティブランドの確立」の実現のため、地方創生先行型交付金や地方創生加速化交付金を活用した事業の更なる深化として位置付けて取り組むものである。

「5-2-③」に記載する事業内容のみならず、「5-3-2 支援措置によらない独自の取組」としては、平成22年度から実施実績があり、広く認知度の高い「とみやブルーベリースーツフェア」を継続開催。本市の特産品「ブルーベリー」を市内店舗に供給する機会の設定による特産品栽培の促進や栽培農家の所得向上、イベントを通じた特産品の市内外へのPRやブランド化、また市の発信力の強化を図る。

これらを通し、目指す将来像の実現に向け取り組むものである。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

#### ① 事業主体

富谷市

## ② 事業の名称：スイーツのまちとみや創出プロジェクト

## ③ 事業の内容

本事業は、先行型交付金（タイプⅠ）を活用した事業やその成果を実践した加速化交付金の活用により実施した、「とみや国際スイーツ博覧会事業」のさらなる深化として、課題解決に向けた事業展開を図るものである。

具体的には、6次化推進事業として、JAあさひなどとともに進める新果樹定着事業による新特産品の開発やそれを原材料とした新商品の開発と各種プロモーションコンテンツを制作し、6次化の取組みを推進し、一次産業の活性化につながるものである。また、交流人口拡大事業として、誘客コンテンツや体験型観光コンテンツの創出に取り組むとともに各種PR事業を展開し、市外から多くの人々を呼び込む。

また、これら6次化推進事業と交流人口拡大事業の取組みをさらに加速するため、とみやスイーツをきっかけとして、市民や市内外の企業、教育機関等との関りを強化しながら、とみやスイーツの高付加価値化と地域としての稼ぐ力を創出していく。

## ④ 事業が先導的であると認められる理由

### 【自立性】

地方創生加速化交付金を活用した事業の実績では、目標を大きく上回る来場者数になったことから、とみやスイーツは確実に集客力を見込める魅力的なツールといえる。実績のある内容であれば、出店に伴う料金の徴収や事業への賛意となる協賛金の確保のハードルが下がることも想定できる。また、とみやスイーツをきっかけとして生まれた新規店舗経営者や新規就農者、6次化に関わる起業家などのプレーヤーで構成された、「まちづくり会社」を設立し、スイーツステーション運営も含めた収益事業を展開することで、市民主体の自立した事業展開が充分に見込め、「市民が稼げる地域」が実現する。

### 【官民協働】

スイーツ博のスポンサー企業との協賛企画に加え、とみやスイーツをツールとした6次化の効果的な推進に向けて、市内の生産者やスイーツ店とのマッチング、JAあさひなや宮城大学等との商品開発を進める。また「とみやスイーツステーション」の整備検討にあたっては、本プロジェクトに興味を示す市民や民間業者、宮城大学等もメンバーとして位置付け

る。

#### 【地域間連携】

富谷市は、宮城県のほぼ中央に位置し、また、政令指定都市の仙台市に隣接していることから、この地理的優位性を十分に活かした地域間連携を図るもの。また、県北部地域 JA5 団体が合併し、新組織が発足することから、従前の JA を構成していた地区の市町との連携が生まれ、地域特産品の販売等を活用した交流や各地域資源を活かした 6 次化の推進などの新たな取組みが期待できる。

#### 【政策間連携】

本事業では、観光振興施策やイベント開催等により、地域産業の 6 次化や経済効果の高い交流人口の増加、さらには、とみやスイーツに関わる地域に根差した起業家育成による「市民が自ら稼げる地域」の実現と賑わいの創出、そして地域に根ざした一次産業の担い手の確保など、政策間連携が可能となっている。

### ⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

#### 【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H30 年度 増加分 1 年目	R1 年度 増加分 2 年目	R2 年度 増加分 3 年目	KPI 増加分 の累計
スイーツ博覧会による交流人口 年 10,000 人以上増加	0 人	5,000 人	5,000 人	0 人	10,000 人
新果樹等の新特産品の定着（生産拡大） 3 品以上	0 品	0 品	1 品	2 品	3 品
新規就農者、起業家（新規店舗・観光ビジネス） の育成 3 人以上	0 人	1 人	1 人	1 人	3 人
スイーツステーションを見据えた「とみや スイーツ」の開発 10 品以上	0 品	3 品	3 品	4 品	10 品

### ⑥ 評価の方法、時期及び体制

#### 【検証方法】

外部組織については、産官学金言の各分野で構成する「富谷市総合計画審議会」において、KPI 設定の達成状況及び妥当性の検証を行う。

議会については、富谷市総合計画審議会での検証結果を踏まえた富谷市議会への説明及び検証。

【外部組織の参画者】

大学教授、市内農産物産直販売組織代表、市内企業代表、  
市外企業代表、新みやぎ農業協同組合、くろかわ商工会長、  
七十七銀行富谷支店長 等

【検証結果の公表の方法】

議会説明、広報媒体等での周知・公表

⑦ 交付対象事業に要する経費

・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 64,236 千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から令和3年3月31日（3ヵ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) とみやブルーベリースイーツフェア

事業概要：本市の特産品であるブルーベリーの収穫期である7月上旬に、  
市内スイーツ店等が参加し、各店が趣向を凝らした富谷産ブルーベリーを使用したオリジナルの「とみやスイーツ」を製作・販売し、市内外の多くの方々が参加している。

また、本フェアのPRにあたっては、市内小学生で構成される「とみやスイーツアンバサダー」の協力のもとにチラシ等を作成している。

実施主体：宮城県富谷市

事業期間：平成22年度～

## 6 計画期間

地域再生計画認定の日から令和3年3月31日まで

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

### 7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

#### 【検証方法】

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を地方創生担当部署がとりまとめる。

外部組織については、産官学金言の各分野で構成する「富谷市総合計画審議会」において、KPI設定の達成状況及び妥当性の検証を行う。

議会については、富谷市総合計画審議会での検証結果を踏まえた富谷市議会への説明及び検証。

#### 【外部組織の参画者】

大学教授、市内農産物産直販売組織代表、市内企業代表、市外企業代表、新みやぎ農業協同組合、くろかわ商工会長、七十七銀行富谷支店長 等

### 7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

#### 【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H30年度 増加分 1年目	R1年度 増加分 2年目	R2年度 増加分 3年目	KPI増加分 の累計
スイーツ博覧会による交流人口 年10,000人以上増加	0人	5,000人	5,000人	0人	10,000人
新果樹等の新特産品の定着（生産拡大） 3品以上	0品	0品	1品	2品	3品
新規就農者、起業家（新規店舗・観光ビジネス）の育成 3人以上	0人	1人	1人	1人	3人
スイーツステーションを見据えた「とみやスイーツ」の開発 10品以上	0品	3品	3品	4品	10品

### 7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

議会説明、広報媒体等での周知・公表